

## 令和元年度 第2回 社会教育委員会 会議録

日 時 令和2年2月14日（金）  
午前10時から午前11時45分

場 所 豊明市役所 新館3階 教育委員会室

出席者 橋本委員、緒方委員、青木委員、奥村委員、近藤委員、堀川委員、  
服部委員、岸委員、弼委員

欠席者 なし

事務局 教育部長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、生涯学習担当  
係長

傍聴人 なし

### 3 議題

#### (1) 令和2年度基本方針及び事業計画について

生涯学習・文化財事業については、生涯学習担当係長が説明。

文化・スポーツ事業については、生涯学習課長補佐が説明。

図書館事業については、図書館長が説明。

質疑等

委員

ラジオ体操会について、双峰小学校のみではなく、スポーツ教室等参加者が減っている他の事業から移行する等、予算を増やして3地域ずつをローテーションで開催することはできないですか。

事務局

双峰小学校でラジオ体操を行っている理由は、毎月第1日曜日に行っている歩け歩け運動のゴール地点が二村山の山頂なので、そこからラジオ体操に参加がし易いためです。今後の運営については体育協会と相談したいと思います。スポーツ教室についても参加者が増えるよう努めていきたいと思います。

委員

子どもたちは昔と違って基礎体力が落ちているため、怪我にも弱いように感じます。是非基礎体力を養うような教室を開催していただきたいと思います。

事務局

子供たちは、昔と比べて様々なスポーツを選択することができるようになりましたが、基礎体力を養うという点をもう一度考え、事業に反映していきたいと思います。

委員

放課後子ども教室について、直営と民間に差は出来ていないですか。情報交換は行っていますか。

事務局

子どもたちの安全な居場所づくりのために決まった時間で講座等を行うということになっており、内容に大きな違いはありません。民間はノウハウが多いかと思いますが、直営のコーディネーターも教員免許か保育士資格を持っていますので、知識や経験を活かして工夫した運営を行っています。また、定期的に各教室の代表者が集まって情報交換を行っています。

委員

放課後子ども教室と児童クラブの一体型運営とはどのような運営ですか。

事務局

放課後子ども教室と児童クラブがどちらも学校内で行っている場合に、合同でプログラムを行ったり、児童クラブの子どもたちが放課後子ども教室に参加したりというように連携した運営を一体型運営としています。

委員

子どもたちが過ごす場を提供するという意味では分かれた運営ではなく、今後も連携した取り組みが必要だと思います。社会を担っていく子供たちを育てていくため、ただ居場所を提供するだけではなく、創造性を養うような内容を工夫し、必要な予算を確保していくことを考えていただきたいです。

事務局

今後もより良い運営を行っていきたいと考えております。

事務局

スポーツクラブについて、行政・学校・地域が連携して、総合型地域スポーツクラブに移行するというのはどういうことですか。

事務局

子どもも大人も一緒に楽しめるようなスポーツクラブを作っていくということを目的にしております。選択が多様化する中、レクリエーションのような親子で気楽に参加できるようなプログラムを行う等、裾野を広げていくことを目指しています。

委員

親子で行うものは子どもの年齢が低いように思う。教員の働き方改革で部活動から民間のクラブへの参加が増えることが予想される。民間に参加が出来ない子どもたちもいると思う。そこを市がフォローしていく体制を整えてほしいと思います。

事務局

指定管理者であるシンコースポーツとも相談しながら進めていきたいと思っています。

委員

部活動についてですが、県からも部活動についての指針が示され、教員の部活動への参加も制限が設けられました。しかし実際にはスポーツの大会が多く、教員の引率が必要ですが調整が難しい状況です。豊明市においても、市民大会を部活動単位の参加ではなく、個人での参加ができるようなシステムを考えていただきたいと思っています。

事務局

現在の参加の状況を確認し、学校教育課と考えていきたいと思っています。

委員

現在の豊明市の部活動についてのシステムは20年前に構築されています。その辺りの経緯から追っていくと改善の方法が見つけ易いと思います。

事務局

承知しました。

委員

小学校でも同じように、活動は縮小の傾向にあります。

委員

子どもにとっては活動ができるかが重要であるため、指導者を確保し、名前を変えるなど工夫をする必要があると思います。

委員

海外では、部活動はなく、子どもたちは学校から帰ると民間の教室に行っています。学校の先生は激務である上に、専門ではない種目についても指導しなければならない状況にあります。クラブチームを選んで参加している子どももいます。現在は過渡期にあるかと思いますが、今後先生方の負担の少ないように改善されていくと良いと思います。

委員

図書館施設見学について、歩いて図書館へ向かうには遠くて参加ができない学校が

あります。全学校で行うことを目指し、マイクロ等を使用することができないか検討してほしいと思います。

事務局

今回、栄小学校が図書館見学をした際、バスに乗ることも勉強であるという先生の考え方により、前後駅からバスに乗って来てくれました。バスの利用も難しい遠い学校もあるかと思います。夏休みには高学年を対象に図書館を知る講座を行っていますので、優先的に参加していただく等、今後考えていきたいと思います。

委員

読書手帳についてですが、子ども向けであるように思います。本の題名を記入する欄を増やす等、大人向けの読書手帳があると良いと感じています。

事務局

読書手帳については子どもも大人も使用していただいているので利用できていると思っていました。今後内容についてより使用し易いものになるよう検討していきたいと思います。

委員

基本方針が4つあるのに対して、事業計画が文化・スポーツで一つになり、文化振興の計画が少ないように感じますが、いかがでしょうか。

事務局

社会体育と文化振興ですが、元々係が分かれていたものが一つになり、文化・スポーツ係となりましたが、事業として一緒になるものではございません。事業計画については、どちらも指定管理者が運営を行っており、今回具体的な計画をお示しすることができませんでした。今後は、少しでも委員の皆様にご事業の内容をお伝えできるよう検討していきます。

委員

文化会館の事業について、指定管理者の運営であるとは思いますが、市の方からも魅力あるイベント、人が集まるような工夫をするよう働きかけていただきたいと思います。

委員

指定管理に移行したメリットは、ノウハウの多さやコスト削減、市民に近い感覚で運営できること、デメリットについては利益を優先した事業になってしまう可能性があることだと思います。また、ターゲットとして、若い方であれば東京でも大阪でも行きたいと思うイベントであれば参加すると思いますが、年齢が高くなって遠

くまでは行けないけれど、文化会館なら近いからと参加するような世代を考えていただきたいと思います。そして、指定管理にして良かったと言えるような事業内容となるよう、働きかけていただきたいと思います。

事務局

指定管理者の運営については定期的にモニタリング制度があり、生涯学習の計画やプランに基づいた運営を行っているかどうかはチェックしております。その結果が次年度事業に反映され、より良い運営にしていけるよう見ていきたいと思っています。

委員

豊明には素晴らしい人材が多くいます。先日も発達障害の研究をされている方がテレビで紹介されていました。そういった人材を活用していくことも考えていただけたらと思います。

事務局

現在文化会館でコンサートを行ったり、福祉体育館でスポーツ教室を行ったりと、地域の方が活躍していただいている場がございます。

委員

母親の立場から子どもの遊び場や部活動のあり方について、市がもっとバックアップをしていただけたらと思います。

事務局

スポーツの競技においても多様化が進む中、市としても活動の場を提供していけるよう考えていきたいと思っています。また、家庭教育学級の目的でもございますが、保護者が学び、子供たちと一緒に成長していただきたいと思います。

委員

西沓掛の青少年健全育成の事業で、ボッチャ大会を行いました。ボランティアの中学生が14名も集まりましたが、当日参加の子どもがとても少なかったです。回覧板等で周知はしましたが、同居の多い地区であることもあり、小中学生の親世代が目にすることなく回覧板がまわり、イベントを知らない人がたくさんいたのではないかと思います。市で行うイベントについても、周知の方法をもっと工夫すると、若いお父さん、お母さんや子供たちの参加者が増えるのではないかと思います。

委員

青少年健全育成のため地域は頑張っていますが、子供たちの参加者を増やすのに苦労しています。中学校の部活で参加をしてくれる学校もあります。子供たちの多くは、参加してみたら楽しかったという声も多く聞かれますので、周知をしっかり行

って参加してもらおう工夫が必要なのだと思います。

委員

基本計画の中にひまわり大学の支援をするとありますが、具体的にどのような支援を行うのですか。

委員

ひまわり大学の立ち上げの際は大変苦労しましたが、4月から8年目、講座数も参加者数も増えました。今後も長く続けられるように頑張っていこうと思いますので、市の協力をお願いいたします。

事務局

ひまわり大学には本当に素晴らしい活動をされていると思います。豊明市の財政が厳しくなる中、どのような支援ができるのか考えていきたいと思います。先日も豊田市の視察があり、ひまわり大学の取り組みに感銘を受けられていました。生涯学習課としてもこの活動をしっかり PR しながら、今後も一緒に頑張っていけたらと考えております。